

雑木林ファンクラブ通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

それは何色？

伯父の喜寿祝に鎌倉の自宅を訪ね、一緒に小半時ほど近くを散策した。茜色に変化した二つ割の実を戴いて起き上がったばかりのクヌギの実生苗。そのすぐ奥の藪では人間を警戒してか忍び足で歩くコジユケイの気配。昨年より1～2週間遅れと言うが、谷(戸)の確かな胎動を感じて思った。4月の和名『卯の花が咲く月・卯月』は太陰暦ならでの呼び名。太陰暦の4月は天地が新しい生命を産み出す月、草木が一斉に萌え出で昆虫や動物達が目覚め孵化羽化すべく発生の時を今や遅しとウズウズしながら待ち侘びる月。その『生(産)み月』『ウズウズする月』が『う月』に約まったのかも、と。

この勝手な当て推量の是非はともかく、外に出たくてウズウズしていたのは人間も同じ。公園や空き地のここかしこで草を摘み何かを探す親子連れを姿が増えた。時に見知らぬ幼児に誘われるまま草花遊びに興じる。切っ掛けを作ってくれるのは大抵タンポポ。やれカントウ～だセイヨ～だ云々はさておき、誰もが知っている黄色い春の日時計、太陽に従い開閉する元気な晴れマーク。頭花を髪に飾り茎で作った笛を鳴らし風車を廻す。花冠を千切り冠毛(綿帽子、綿毛)を吹き飛ばしての花占い。この他愛ない野遊びが自然と触れ合う一助になれば幸せ。

ところで、タンポポの色は何色？その昔『東京のタンポポは黄色一色だね』と大分出身の級友がいった。聞けば『黄色もあるけど大半は白』横浜で育った者には黄色以外のタンポポなぞ想像できない。見たいとは思ったが機会が無いまま時が流れた。数年前のある日、通勤の道すがらタンポポの白い蕾を見つけた。念願のシロバナタンポポ！と思いきや日ごとに伸びた花茎の先に現われたのは旅立ちの準備が整った白い綿毛。先の蕾の白は成熟する果実に総苞片の上まで押し上げられた冠毛だった。花から果実に至るタンポポの生長過程を調べれば一目瞭然・ぬか喜びせずに済んだものを…自生種ではないが運がよければクヌギの道⑥付近で本物のシロバナタンポポに出会える。その周辺に何種類の黄色いタンポポが在るか探すのも春休みならでのお楽しみだ。

朱鷺

参考：タンポポ類の成長過程

- ① 頭花は幾度か開閉を繰り返す
- ② 閉じた頭花を付けたまま花茎は地に付す(未熟な果実を雨風から護るためか)
- ③ 果実が成熟する頃に花茎は再び起き上がり急伸する
- ④ 頭花が開き冠毛は球形に展開する
- ⑤ 風を捕らえて飛ぶ

1. 3月の活動報告

- ① 3月1日(土) 晴 21名 SF準備、炭材加工(竹)、午後・ZFC会員向け森ボラ勉強会
- ② 3月8日(土) 晴 27名 SF準備、木酢液蒸留、本釜炭材詰、補植(クヌギ林 32本、池の上 18本)
- ③
- 3月15日(土) 晴 24名 SF準備、本窯炭焼き(竹)、竹材及び杉檜材搬送、運営会
- ④ 3月22日(土) 晴 26名 SF準備、本窯炭出し、しいたけ収穫



苗畑のクヌギ、コナラ(左上)をクヌギ林に補植(右上)。引続き活着状況をチェック記録します。苗畑は空になりましたが、炭小屋では実生の幼苗がプランターで育っています。



昨年除伐しておいた8号地の杉檜材を搬出しトラックで炭小屋に持ち込んだ。写真は森からトラックまでの横持ちの様子。同日、他グループが伐採した桂台の孟宗竹も引取った。(左上) 改修窯の竹炭焼きは初めて。やや焼け過ぎ気味ながらもまずまずの炭が採れました。(右上) シイタケが採れ始めました。急に暖くなったためか、3月22日にはバケツに2杯。古いホダ木からも、一昨年18年に駒打ちした新しいホダ木からも元気一杯沢山取れました。19年のタグをつけた木にはまだ変化ありません。(左)

2. 3月の運営会報告（3月15日14：30～）

- ① 4月作業予定の打合せ調整
- ② クヌギ林補植 クヌギ林 32本、池の上 18本を補植。後日、活着状況を要チェック。
- ③

スプリングフェア（4月19日（土）20日（土））の打合せ。

- ・工作物等準備状況のチェック
- ・レンタルトラックの手配
- ・横浜公園：

19日（土） 08：00 集合、準備

20日（日） 09：30 集合

- ・昼食は ZFCにて用意する。
- ・19日（土）夕刻、ご苦労さん会を実施する。

（会費は各自一部負担する）

その他細部は再度打合せ



トチ、檜材でSF用のまな板を製作中。

- ④ 観桜会：3月29日（土）に実施する。次週出席者の様子を見たとうえで会員への連絡を徹底する。
- ⑤ シイタケ菌の駒打ち：3月29日（土）に実施する。駒 1,000個を注文。
- ⑥ その他懸案作業の打合せ。SF後、順次実施する。
 - ・名瀬北村農園の杉材の処置は梅の実収穫時まで実施。先方との調整は宮田さん。
 - ・トウネズミモチの伐採
 - ・クヌギ林の間伐除伐に関し、残す木に名札をつける。
 - ・園内の枝折れ樹木の処理

3. 活動予定

- ① 3月29日（土）花見、シイタケ菌の駒打ちホダギ作り
- ② 4月5日（土） Sf準備、製材、木酢液蒸留
- ③
- 4月6日（日） 友の会総会（10～12時）
- ④ 4月12日（土） Sf準備、製材、木酢液蒸留
- ⑤ 4月19日（土） 横浜公園スプリングフェア参加、夕方・ご苦労さん会
- ⑥ 4月20日（日） 横浜公園スプリングフェア参加
- ⑦ 4月26日（土） Sf後片付け、午後・運営会

4. その他

- ① “スプリングフェア2008について”

Sfについては、役割分担が一応決まっていますが、2日間の活動を互いに交代しあって成功させましょう。
- ② 炭焼き記録を添付します。改修窯での竹炭焼き第1号です。

以上

無名たのし 芽をいそぎいる 雑木山
児玉南草
(角川歳時記から)